

# 18. 福井県



## 1 8 福井県

## A. 医療提供体制の現状

福井県の特徴は、石川県と似ており、(1) 比較的高い医療資源レベル (2) 福井・坂井への一極集中傾向である。

## (1) 比較的高い医療資源レベル

県全体の偏差値は、病床数 (5 3)、一般病床数 (5 4)、病院勤務医数 (5 2)、全身麻酔数 (5 1)、看護師数 (5 5) と比較的高く、全国平均を大きく上回っている。

ただし奥越と丹南は、一般病床が少なく、病院勤務医も看護師も少ない。

## (2) 福井・坂井への一極集中傾向

福井・坂井の医療圏に人口の51%が集中しているが、病院勤務医の72%、全身麻酔の83%、看護師の64%と、人口以上の割合で医療資源が集中している。福井・坂井以外では、全身麻酔を年間1,000例以上行うDPC病院がない。福井・坂井地区の一極集中が強く、奥越と丹南は、高度な医療が必要な場合は、福井・坂井の福井大学病院や済生会、県立中央病院、日赤などを受診する。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (福井・坂井)

福井・坂井には福井大学があり、人口当たりの偏差値が、一般病床 (6 3)、病院勤務医 (6 3)、全身麻酔件数 (6 2)、看護師数 (6 4) と、非常に充実した医療が提供されており、奥越や丹南や石川県南部からも多くの患者が福井・坂井へ受診している。2010→35年の福井県全体の総医療需要が1%増、0-64歳の医療需要が26%減、福井・坂井の総医療需要が4%増、0-64歳の医療需要が25%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が強まっていく可能性が高い。

医師養成数の適正化と福井坂井で働く医師が医師不足地域での勤務を促す政策誘導、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。また、福井・坂井75歳以上の医療需要40%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

## (奥越)

奥越の人口当たりの偏差値が、一般病床 (4 1)、病院勤務医 (3 8)、全身麻酔件数 (3 8)、看護師数 (4 0) と、非常に医療提供の不足した地域であり、多くの患者が福井・坂井

へ受診している。

2010→35年の奥越の総医療需要が12%減、0-64歳の医療需要が38%減を考えると、人口動態を見ながら、地域内の医療施設の集約と地域内のネットワーク化を基本に、福井・坂井からの支援と連携の強化を図るなどにより、現在の医療機能を維持することが求められる。

#### (丹南)

丹南の人口当たりの偏差値が、一般病床（42）、病院勤務医（38）、全身麻酔件数（36）、看護師数（43）と、医療提供の不足した地域であり、多くの患者が福井・坂井へ受診している。

2010→35年の丹南の総医療需要が4%増、0-64歳の医療需要が21%減を考えると、人口動態を見ながら、地域内のネットワーク化を基本に、福井・坂井からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

#### (嶺南)

嶺南の人口当たりの偏差値が、一般病床（53）、病院勤務医（46）、全身麻酔件数（42）、看護師数（51）と、病床と看護師が多く、病院勤務医数や全身麻酔件数の少ない医療圏である。

2010→35年の嶺南の総医療需要が4%減、0-64歳の医療需要が33%減、75歳以上の医療需要27%増を考えると、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。また、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、福井・坂井からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
福井県	806,314	43位	4,190	34位	192.4		25%	-16%	33%
福井・坂井	409,332	51%	957	23%	427.5	地方都市型	24%	-14%	40%
奥越	60,757	8%	1,126	27%	54.0	過疎型	30%	-28%	14%
丹南	190,821	24%	1,007	24%	189.5	過疎型	25%	-12%	33%
嶺南	145,404	18%	1,099	26%	132.3	過疎型	26%	-22%	27%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A.「医療提供体制の現状」、表18-1、表18-2、表18-5、図18-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図18-5)

図 18-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

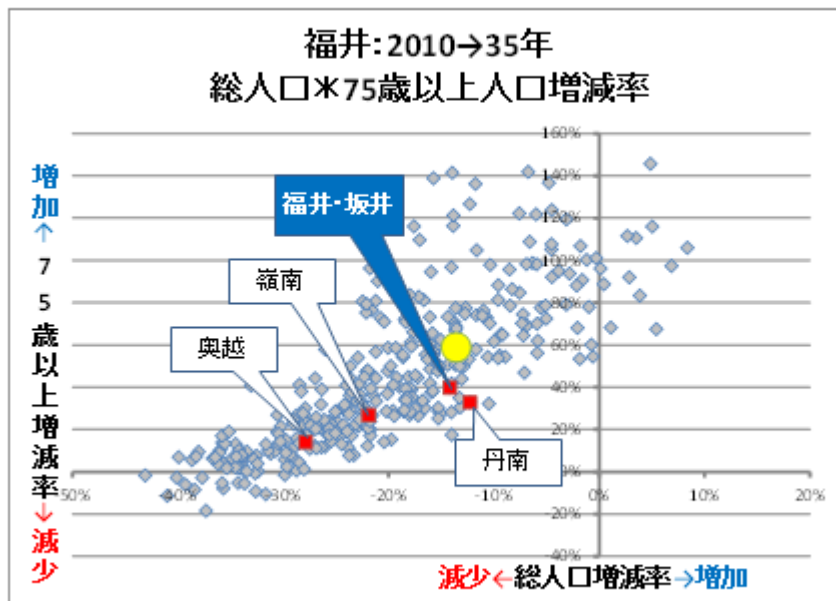


表 18-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
福井県	11,889	0.7%	1,474	53	6,636	0.7%	823	54	9,632	0.7%	90	47
福井・坂井	7,054	59%	1,723	58	4,188	63%	1,023	63	4,898	51%	96	50
奥越	547	5%	900	42	307	5%	505	41	911	9%	87	46
丹南	2,188	18%	1,147	47	981	15%	514	42	2,359	24%	93	49
嶺南	2,100	18%	1,444	53	1,160	17%	798	53	1,464	15%	71	38

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 18-2 病床数（人口 10 万当たり）、総高齢者ベッド数（75 歳以上 1,000 人当たり）

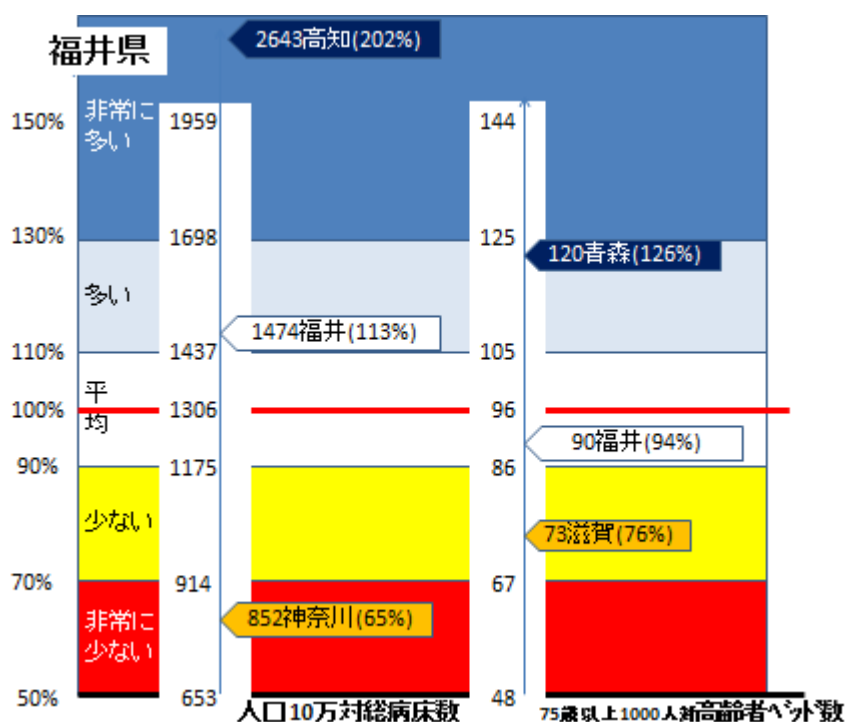


表 18-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
福井県	2,338	0.7%	290	51	345	0.6%	43	49	2,443	0.7%	303	51
福井・坂井	1,182	51%	289	51	225	65%	55	52	1,405	58%	343	53
奥越	105	4%	173	46		0%	0	39	135	6%	222	48
丹南	721	31%	378	56	80	23%	42	49	402	16%	211	47
嶺南	330	14%	227	48	40	12%	28	45	501	21%	345	53

表 18-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
福井県	2	1.0%	2.5	54	5	1.3%	6.2	59	689	0.8%	85	54
福井・坂井	1	50%	2.4	54	5	100%	12.2	76	427	62%	104	59
奥越	0	0%	0	43	0	0%	0	42	35	5%	57	47
丹南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	134	19%	70	50
嶺南	1	50%	6.9	72	0	0%	0	42	93	13%	64	49

表 18-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
福井県	1,087	0.7%	135	52	6,233	0.7%	773	55	11,640	0.6%	1,444	51
福井・坂井	781	72%	191	63	3,996	64%	976	64	9,688	83%	2,367	62
奥越	37	3%	61	38	271	4%	446	40	256	2%	421	38
丹南	118	11%	62	38	973	16%	510	43	610	5%	320	36
嶺南	151	14%	104	46	993	16%	683	51	1,086	9%	747	42

図 18-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

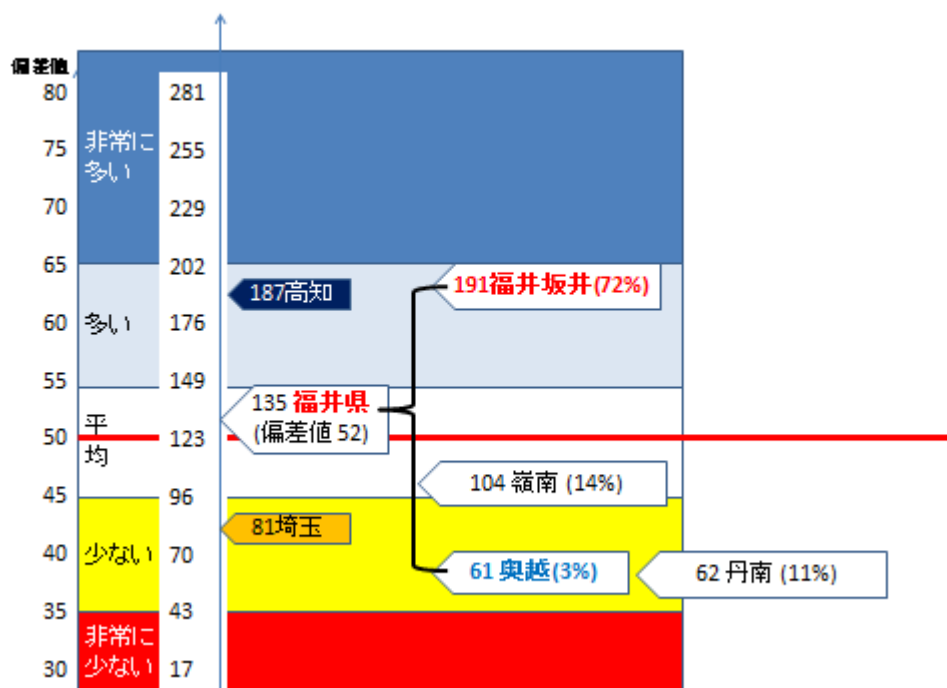


図 18-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

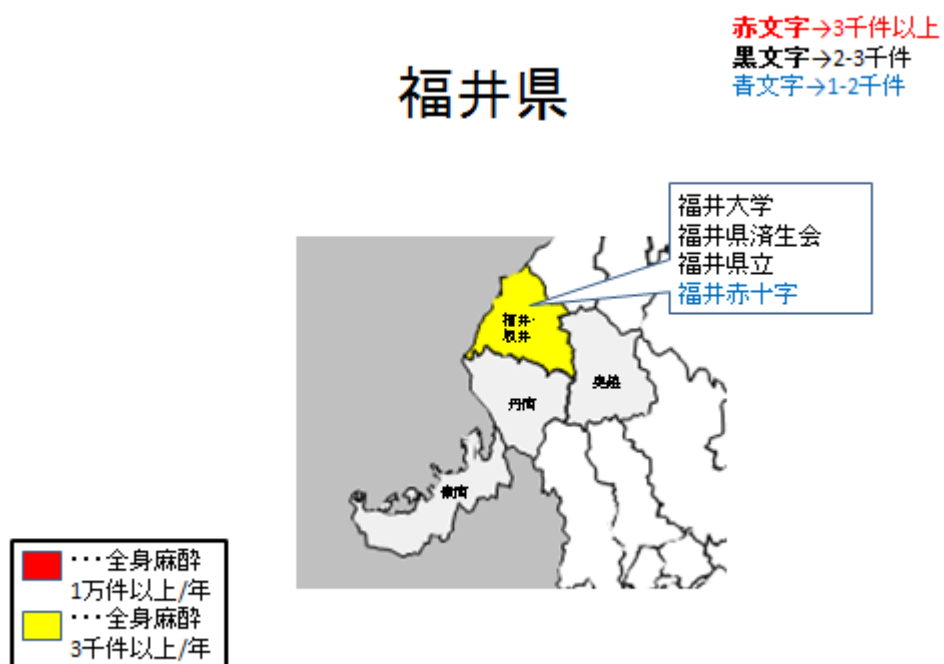


図 18-5 二次医療圏（流入出）

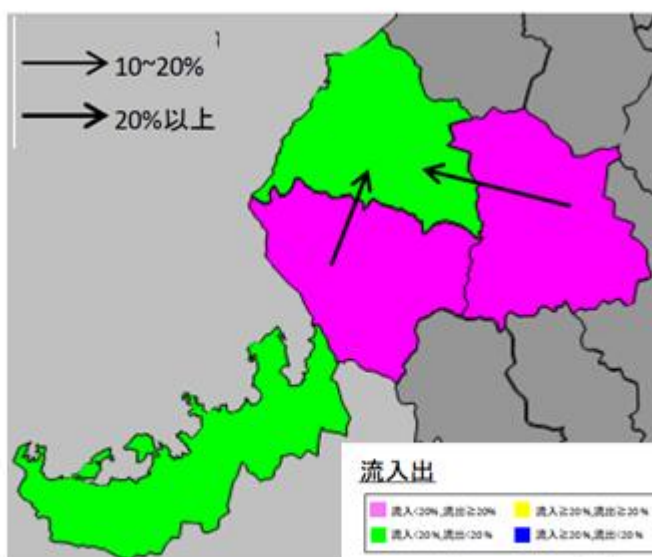


表 18-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
福井県	6,269	0.9%	58	57	2,709	0.9%	25	56	3,560	0.9%	33	55
福井・坂井	3,033	48%	59	58	1,150	42%	22	51	1,883	53%	37	59
奥越	621	10%	59	58	321	12%	31	66	300	8%	29	51
丹南	1,502	24%	59	58	732	27%	29	62	770	22%	30	52
嶺南	1,113	18%	54	54	506	19%	25	55	607	17%	30	51

表 18-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
福井県	3,363	0.5%	31	42	596	0.3%	5.5	40	828	0.5%	7.7	44
福井・坂井	1,865	55%	36	45	413	69%	8.1	42	426	51%	8.3	45
奥越	290	9%	28	40	29	5%	2.8	37	60	7%	5.7	41
丹南	857	25%	34	43	110	18%	4.3	39	179	22%	7.0	43
嶺南	351	10%	17	34	44	7%	2.1	37	163	20%	7.9	45

表 18-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
福井県		1%	-26%	-7%	-20%	33%	28%
福井・坂井	2	4%	-25%	-3%	-17%	40%	34%
奥越	3	-12%	-38%	-28%	-34%	14%	10%
丹南	3	4%	-21%	-5%	-16%	33%	28%
嶺南	3	-4%	-33%	-10%	-25%	27%	22%



図 18-6 福井県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

